令和4年度愛媛県人権・同和教育研究大会

愛媛県教育委員会と愛媛県人権教育協議会は、「差別の現実から深く学び、『部落差別の解消の推進に関する法律』の具現化を目指して、地域ぐるみで人権・同和教育を推進しよう」をテーマに、県内各地の実践を通して学び合い、差別解消に向けて取り組むために、標記研究大会を次のとおり開催いたしました。昨年は、1922年に全国水平社が創立されてから 100 年を迎えました。また、今年は、全国水平社愛媛県本部が創立されて 100 年となります。この節目の年に改めて、先人たちの差別解消への思いや行動から学び、その思いを引き継いでいかなければならないという思いで、本大会を開催いたしました。

【全体会】

午前中は、松山市民会館大ホールで、全体会を行いました。

参加者数は約 1,200人で、多くの参加者を得て開催することができました。

○ 開会行事

開会行事は、「開会のことば」で始まり、県教育長の挨拶の後、県知事から祝辞をいただきました。また、今年度は、伊予市の西岡博幸様と松山市の新谷和志様が、人権・同和教育推進功労者として知事表彰されました。

○ 動画上映

「部落差別解消をめざす動画メッセージ」コンテストに応募された中から、優秀作品として選ばれた4作品の上映と表彰を行いました。

［優秀作品一覧］

作品タイトル	所属・団体名
ジビエで知った大切なこと	松野町あおぞら子ども会
役者から俳優になった井上正夫	砥部町立砥部中学校
私たちが正しい知識をもつために	八幡浜市立江戸岡小学校
100 年のバトンを受け継いで	伊予市立伊予中学校

【分科会】

午後は、市内6会場（にぎたつ会館、エスポワール愛媛文教会館、松山市総合福祉センター、松山市総合コミュニティセンター大会議室・キャメリアホール、松山市民会館大ホール）で分科会を行い、部落差別の解消や人権課題の解決に向けて協議することができました。